

附中通信

～気づきが拓く学校づくり～

三重大学教育学部
附属中学校

№4

平成29年5月31日

平和の礎

5月17日から3日間、3年生は修学旅行で沖縄を訪れました。天候にも恵まれ、全員が元気に参加し、かけがえのない思い出の1ページを記すことができました。そして、沖縄の風土、歴史、現在、沖縄の人々、様々な出会いを通して、命の尊さについて平和について一人ひとりが考えをさらに深め、中学校に持ち帰ってくれました。また、3年生のみなさんは、平和を自らの課題として、一人ひとりがなすべき事としてとらえ、平和祈念公園で決意を表明してきました。その思いを附属中学校全体でも共有し、平和の礎を築いていきたいと考え、以下に紹介します。(各クラスの平和宣言文より一部抜粋)

A組

多種多様な人間の文化や性格を認め合うこと。相手のことを思いやり接すること。相手の立場になって接すること。私たちはそのために身近なことから始めていきます。

- 一、あいさつをする。
- 一、自分の気持ちを素直に伝える。
- 一、たくさん話をして、理解しあい絆を深める
- 一、お互いを尊重しあい、協力する。

B組

今、私たちができることは、日々、人を思いやりながら行動したり、相手のいいところを見つけたり、他者を尊重し様々な文化を理解すること。そんな小さな行動から平和は保たれるのです。そこで、三つのことを宣言します。

- 一、二度と戦争を繰り返さないように、平和を強く願い、過去の教訓を生かしていきます。
- 一、やさしい心を持ち、人を思いやります。
- 一、今いる恵まれた環境に感謝し、未来へつないでいきます。

C組

私たちの力は微力ですが、無力ではありません。私たちはこれからしていきたいことが3つあります。

- 1つめは2度と「戦争」という過ちを繰り返さないように、戦争の悲惨さ、むなしさを忘れず、次の世代へ伝えていくことです。
- 2つめは自分達がこうして幸せな環境で暮らしているこの「当たり前」に感謝することです。
- 3つめは一番小さな戦争である「いじめ」をなくすことです。

D組

平和の反対は戦争ではありません。不安や心配、いじめなども全て平和の反対です。これらをなくし、身近な平和を実現するために、心のつながりを紡いでいかなければなりません。そのために私たちは、以下の行動をしていくことを宣言します。

- 一つ、困っている人の相談に乗る。
- 一つ、自分のことだけでなく、相手のことも考える。
- 一つ、いじめを見て見ぬふりをせず止める。
- 一つ、マナーを守る。
- 一つ、他者の意見を尊重する。
- 一つ、挨拶をきちんとし、感謝の気持ちを伝える。